

大草谷津田生きものの里 自然観察会

夏の谷津田はムシ天国パート 1

晝間初枝（四街道市）

日 時：2019 年 7 月 21 日（日）10:30～12:00 天候：曇り

参加者：61 名（大人 25 名 子ども 36 名）

担当指導員：萩 将勝 晝間 初枝

梅雨明け前の曇り空、今にも雨が降りそうな天気にもかかわらず、網と虫かごを手にした元気な子どもたちで広場はにぎやか、駐車スペースもないくらいです。

夏休みに入って最初の観察会。広報で知ったという初めての方が多くもあり、「大草谷津田生きものの里」についての説明や利用上の注意を丁寧に話すようにしました。

今日のテーマは「ムシ」。ムシの中の昆虫たちがビンゴカードにのっていること、その種類、特徴、仲間たちについて説明、虫をつかまえたら身体をよく観察するように話して出発しました。

毎年セミの声でにぎわう林も今年はようやくアブラゼミが鳴き始めたところです。それでもニイニイゼミの抜け殻を数個見つけ、朝見つけておいたヒグラシの抜け殻を観察しました。下見では、未だ梅雨が明けないこともあり、虫が少ないのではと心配しましたがそれもすぐに一掃され、子どもたちは虫探しに夢中になっていました。

道脇の藪で大きなヒキガエル見つけてびっくり！近くに赤ちゃんヒキガエルが数匹、その大きさの違いにまたまたびっくり。圧巻だったのは、50cmもありそうなコウガイビル、雨後の湿った道に何匹も・・・。「触ると縮むよ、こんな生き物もいるんだ！切れたらどうなるのかな？」不思議な生き物にみんな興味津々。セイタカアワダチソウに止まっているノコギリカミキリを見つけ、ノコギリみtainな触覚を観察、そばの枝にこびりついている白いものは、触るとピョンと跳ねるアオバハゴロモの幼虫。ナナフシモドキ、森のお掃除屋さんオオヒラタシデムシの幼虫、成虫、木の幹にヒモミノガの細長い紐のようなミノ等々。

林を抜け谷津に出る。山側の切り株の祠にキセルガイ、林縁を舞うのはマイマイガの雄だろうか。畔に下りるとナガコガネの網に飛び込んだバッタが一瞬にして糸に巻かれて動けなくなる様子を目の当たりにし、

「食べられちゃう」と言いながらもずっと見入っていました。思い思いに虫を追いかけたあと、捕えた生き物を持ち寄りました。小さなカエル、バッタ、トンボ、カメムシ、ナナフシモドキ、カミキリムシ、オニヤンマの抜け殻・・・。子どもたちの目はいつもながらすごい。当初の心配をよそにたっぷりムシと触れ合い、満足気な表情にほっとしました。

最後に捕えたムシを自然に返すことを約束して終了しました。



やっぱり大好き！水の中の生き物さがし